

WEEKLY REPORT

一宮中央
Rotary



2020～2021年度 RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

地区活動方針「行動するロータリアン！ 世界で何か

よいことをしよう、TOGETHER！」



THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

●創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
●例会日時 毎週水曜日（PM 6時～7時） TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
●例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
◇会長 松前裕己 ◇会長エレクト 尾関一之 ◇副会長 井上雅樹 ◇幹事 松前和子 ◇クラブ会報委員長 今井多美子

令和3年6月2日（水）

第1422回（当年度第41回）例会

例会取りやめ

理 由 定款7-1 d (3)
全地域社会にわたる流行病もしくは
災害が発生した場合



会 長 松前 裕己

皆様こんにちは。5月12日に愛知県にも3度目の緊急事態宣言が発令され、またしても例会を取りやめざるをえなくなりました。この原稿は5月23日に書いていますが、いまだ愛知県の新規感染者数は減少が見えず、6月2日に例会が開けるかどうかあやまれます。皆様ぜひお体にお気をつけて新型コロナにかからないようご注意ください。

予定通り6月2日に例会が開催できれば、愛知FCの秋岡様をお招きして愛知FCへのサッカーボールの寄贈式をいたします。新型コロナウィルスのため今年度は、残念ながら、恒例の青少年サッカー大会を行うことができませんでした。今回のサッカーボール寄贈はサッカー大会に代わるものです。試合用の高級サッカーボールを40個寄贈します。

さて、先日地区の研修実行委員会に参加してきました。第3回目の会長エレクト研修が延期になっておりまして、通常であれば2月に終了している会長エレクト研修が現時点でまだ終了しておりません。5月23日の日曜日にその3回目を迎えるのですが、こちらも第4波の影響を受けて、対面で行う研修ではなく、資料をもとに個人で自習していただく形の研修となりました。

今回私が担当するセッションは、強いクラブを作るクラブの柔軟性と多様性と言うタイトルのセッションです。簡単に言うと、クラブに柔軟性と多様性を取り入れて強いクラブにしましょう、強いクラブになって奉仕活動を行いましょうということだと思います。柔軟なクラブとは、変化に対応して変わることができるクラブです。そして多様なクラブとは、女性や若い人

6月のお祝い事

♪会員誕生日おめでとう

鈴木 宣宏君（2日） 井上 雅樹君（19日）

♪会員配偶者誕生日おめでとう

大森 和世様（28日） 矢野志津江様（30日）

♪結婚記念日おめでとう

山田 満ご夫妻（14日）

の活動が活発なクラブであるともいえます。でもそれだけでは強いクラブとは言えないでしょう。

ホルガー・クナークRI会長はテーマ講演の中で、高潔なコミュニティーにおいて友情や人脈作り、リーダーシップの機会が人々を惹きつけてクラブを強くする、そしてその強いクラブから奉仕の力が生まれると話されています。非常に含蓄のある言葉だと私は思いました。

ロータリーの中核的価値観は多くの会員に共有されています。中核的価値観とは奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップの5つです。

わたしは、強いクラブを作るためには、前提条件として、このロータリーの中核的価値観がすべての会員にしっかりと共有されていると言うことが重要だと感じました。ロータリーは単なる親睦団体ではありません。そしてまた、単なる奉仕団体でもありません。ロータリーの中核的価値観を共有する会員同士のしっかり絆が元になって親睦が形成されてこそ、意味のある奉仕活動につながっていくものだと感じています。この中核的価値観の共有なしではロータリーはただの親睦団体になってしまっていたでしょう。

例会やロータリーの活動に参加することによって、多くの立派なロータリアンと接する中で、私たちは多くのことを知り、学び、その中で自分自身を、ロータリーの中核的価値観を自ら体現できるよう、高めていくことができる機会を与えられているのだと思います。

一宮中央ロータリークラブが、これまで以上に柔軟性・多様性を取り入れて、中核的価値観を共にする仲間たちとともに絆を磨き、今後ますます有意義な奉仕活動を行っていくことができる強いクラブとなることを心から願っています。

第1419～1421回例会（当年度第38～40回の記録）

□令和3年5月12日（水）～5月26日（水）

□例会取りやめ 定款7-1 d（3）

（新型コロナウイルス感染拡大の影響により）

出席 報告	会 員 総 数	50名	
	出席会員数	50名	100%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	4/21～ 5/12	100%

□第11回理事会報告

報告事項

①ニコボックス残高 1,179,000円

②ロータリーレート 1ドル 109円（前月末110円）

③第30回次年度のための地区RA研修協議会

2021年5月16日13：00～14：55 Zoom

秋田次年度RA委員長・伴次年度地区RA委員（登）無料

④第10期2760地区RLI会長エレクト研修パートⅢ

2021年5月23日10：00～16：30 名鉄グランドH

尾関エレクト（登）13,000円

⑤第2回西尾張分区分会幹事会

2021年6月15日17：30～19：30 若宮の杜迎賓館

松前会長・松前幹事（登）10,000円×2名

⑥2021-22年度第1回西尾張分区分会幹事会

2021年6月22日18：00～20：30

名鉄ニューグランドホテル

尾関エレクト・野田副幹事（登）10,000円×2名

⑦2020-21年度地区役員及び会長懇談会

2021年6月26日18：00～20：00 名鉄グランドH

松前PG・松前会長（登）13,000円×2名

審議事項

①2021～2022年度委員会構成表に関する件

②例会取りやめに関する件

③第1418回例会（4/28ヴァイオリンミニコンサート）

の決算に関する件

④第1424回例会（6/23新旧委員会引継ぎ）の予算に

関する件

⑤ピアノ奏者への謝礼に関する件

⑥インターアクトクラブ経費負担金に関する件

【全て承認】

□ニコボックス（ABC順）

☆理事会一同

***** お知らせ *****

日本のロータリー100周年を祝う会
記念式典・祝賀会についてのご案内
（視聴URLと視聴期間）

日本のロータリー100周年を祝う会の記念式典・祝賀会が、2021年5月25日（火）開会13:00～閉会16:30に開催されました。その模様がオンラインでご視聴いただけますので以下の通りご案内申し上げます。

YouTubeオンライン配信ご視聴用URL

<https://youtu.be/Bb-7UMQNJtU>

（注）当初ご案内のURLから変更になっています

動画は2021年6月18日（金）まで視聴可能

一部無音状態の箇所あり。ご了承ください。

□2021-22年度地区研修・協議会報告

第1部オンサイト開催

日時・会場：2021. 4. 18（日）名鉄グランドホテル

ホスト：名古屋栄ロータリークラブ



2021-22年度ガバナー 啓名 俊裕様（安城RC）

○次年度会長 尾関 一之君

4月18日（日）10：00より名鉄グランドホテルにおきまして2021-22年度地区研修・協議会が開催されました。今回はコロナ禍での開催となり会長エレクトと副幹事はオンサイトでの登録となりました。オンラインの登録の方に、なかなかアクセス出来ないとの連絡がありましたが、混雑が解消された後は、アクセスしていただけたそうです。ご迷惑をおかけしました。

オンサイトでは、午前の部で岡部ガバナーの挨拶、啓名ガバナーエレクトの所信表明があり、のち地区委員会から次年度の事業計画が発表されました。午後からは第2750地区バスターガバナーの服部陽子様より、“変化の時代における公共イメージ向上”と題しまして特別講演がありました。のちクラブ役職別研修・協議会が1時間の開催の中で約45分を次期会員増強委員長の発表に費やされ、啓名ガバナーエレクトの会員増強に対する熱意が伝わってきました。2021-22年度啓名ガバナーは、地区方針を「チェンジロータリー 新時代への成長に」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～と示され、この活動を各クラブで支援し活動を通じて広くアピールし、公共イメージの向上に役立ててほしいと、力説してみえました。また地区より会員全員にゼロパッチを配布し意識の向上に努めてほしいと語りかけてみえました。



特別講演 講師 服部 陽子様（第2750地区PG）

第2部：オンライン開催

○次年度クラブ奉仕委員長 伊藤恒二郎君

地区研修協議会「クラブ奉仕委員会」のオンライン視聴での発表をさせていただきます。

次年度地区研修実行委員会の古田委員長よりクラブ奉仕を考えるー国際ロータリーの変遷とその対応ーのお話がありました。具体的には、管理運営、親睦活動などのクラブ奉仕委員会と会場運営、プログラムなどの例会運営委員会、そしてロータリー研修（情報）委員会が対象となります。

国際ロータリーの意図する潮流として、新年度に備えるために一連のリーダーシップ研修を提唱しています。そして最も大切な会合が次年度のための「クラブ協議会」です。次年度のクラブ運営方針や委員会構成および予算を決めるべく必ず新しい年度が始まる前に次年度のクラブ協議会を開催して、次年度のクラブ運営について話し合う必要があります。言うまでもなくロータリー運動の主役はクラブです。定款、細則で規定されてる以外の事項は全てクラブの自主的な判断に任されており、クラブ細則でその規約を縛る必要があります。

昨今、国際ロータリーにおいて随所に柔軟性が導入されました。不必要な委員会を統廃合したり、新しいプロジェクトに対応するために、委員会を新設したりすることもあると思いますが、委員会構成はクラブの実情を考えて変更すべきではないでしょうか。そのための整合性を保つためにクラブ細則を変更する必要があると思われる。

沓名ガバナーエレクトは次年度の地区方針に「チェンジロータリー新時代への成長に！」を掲げられました。時代の要求に対応できるロータリークラブに変化するため、内向き奉仕から外向き奉仕活動へ重点を移し、各クラブが外向き奉仕活動をできる委員会組織づくりをするように強調されています。新型コロナウイルス感染症による影響で、人々の生活様式も急速に変わり、ロータリークラブ活動も従来型の例会から新しい形に変化せざるを得ないものとなっています。ロータリー活動すべての分野を見直しを図る良いタイミングではないでしょうか。地区研修実行委員会として、そのお助けが少しでも出来ればと思っております。皆様が激動する社会に適応した活動を展開して頂けることを祈念しております。とお話されました。

○次年度職業奉仕委員長 今井多美子君

職業奉仕という言葉、概念は、他の奉仕団体やNPO団体には無い「ロータリークラブの金看板」とも「ロータリー奉仕活動の根幹」とも言われます。世のため人のために奉仕する心を持って営むべし、倫理的な商売を実践すれば、自ら職業は栄えていきます。奉仕の理念は、奉仕の心「ロータリーの心」そのもので高い倫理性と高潔性が求められるもので、他人の立場を考え、他人の為にになるように思いやりの心を持ってつくすことです。その為に倫理基準から示されたのが「四つのテスト」です。職業人としてのロータリアンの心構えで專業を繁栄に導くための四通りの基準です。

次年度は、「チェンジロータリー新時代の成長に！コロナゼロ・カーボンゼロ支援」を地区方針とされ、クラブの伝統を守ることはもちろん必要な事ですが、変えてはいけないもの、変えるべきもの、新しく取り

入れるものを見極め、クラブでも何か一つチャレンジしてほしいと言われました。

○次年度社会奉仕委員長 永田 正君

2021～2022年度国際ロータリーのテーマは「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」である。このテーマに沿って沓名次年度ガバナーは「チェンジロータリー新時代への成長に」コロナゼロ・カーボンゼロ支援をと地区方針を述べられた。

1905年シカゴで日本では1920年東京RCが親睦を中心として誕生した。そして115年、奉仕できるロータリーにチェンジしようと、公共イメージ向上を考えた事業を行い地域社会によりインパクトを与え、2760地区が人類の危機を救う発信地になると強い意思を示された。会員基盤を広げようと会員数4,780名を5,000名にと目標を示された。

そして塩谷社会奉仕委員長からは新型コロナのまん延で社会奉仕活動を進めにくい状況下各クラブが知恵を絞り奉仕活動を実施している、多数のクラブで子供食堂への支援が実施されていると報告がありました。2021～2022年度RI会長そして沓名ガバナー・塩谷社会奉仕委員長の方針を視聴し、今こそ奉仕をと、意を新たに致しました。「みんなの人生を豊かにするために」地域社会でそして世界で一步踏み出そうではありませんか。

○次年度国際奉仕委員長 山田 満君

数年来、国際奉仕事業ができない、やれないと衰退しているにあたり、三つの分野を組み合わせ、テーマを掲げ、インパクトのある国際奉仕事業にしていこうと説明がありました。

三つの分野とは「汗をかきましょう」「参加しましょう」「感動しましょう」であり、インパクトのある奉仕事業にするため「地域へのアピール」「公共イメージの向上」に力を入れ、皆様に知っていただくためにも「クラブの活性化」「会員の増強」を行い、ロータリー奉仕デーに参加して頂き「二つ以上のクラブで事業をしましょう」と説明がありました。

また、国際奉仕事業の財源は、会員の年次寄付になり、国際財団活動資金（WF）と地区財団活動資金（DDF）に分けられます。

そして、国際ロータリー財団が進める7つの重点分野があります。「平和構築と紛争予防」「疾病予防と治療」「水と衛生」「母子の健康」「基本的教育と識字率向上」「地域社会の経済発展」そして、新しく加わった「環境保全」ですが、この分野を理解し、地区補助金、グローバル補助金を活用した国際奉仕活動に参加したいと思いました。

○次年度青少年奉仕委員長 松岡 正浩君

2021-22年度沓名ガバナーの地区方針を「チェンジロータリー 新時代への成長に」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～と示されています。

その内で青少年奉仕委員会としては、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換の活動を支援する事となります。「新時代への成長」という点では、インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換それぞれの活動は、明日のロータリアンまた地域社会によりインパクトを与える若者を育てる手助けになり、ロータリーの活性化を図る事ができると思います。一宮中央ロータリークラブとしては、独自の活動としてサッカー大会を主催する事によって地元の子ども達を応援しています。

***** Governor's Message *****
6月は「親睦活動月間」です。

いよいよ6月に入り、後はバーチャル台北国際大会、会長懇談会、チャリティーゴルフ大会などをこなして行くところまでできました。皆様の「ロータリーの友情」に支えられて何とかここまで到達できたことに深く感謝しています。

昨年1月のサンディエゴ国際協議会で「ロータリーは機会の扉を開く」とのRIテーマが示され、ガバナーエレクトとして準備を進め7月からガバナーとなったわけですが、今年度最大のトピックは、やはり新型コロナです。2月の横浜港クルーズ船感染あたりから急に拡大し、当時の安倍首相から声明が発せられるまでになりました。

RI理事会からも指針が出て急に、3月の会長エレクト研修セミナー（PETS）は延期の上DVDによる開催。そして2回延期した地区研修・協議会は初めてのYoutube対応。そして迎えた7月新年度。東京オリンピックは延期され4度の緊急事態宣言やまん延防止措置に見舞われました。RI2760地区は日本最大地区でもあり、多くの奉仕事業を行っています。そのなかで新型コロナ禍によって出来なかったことは、

1. 青少年交換事業。
 2. WFF（ワールドフード&ふれあいフェスタ）名古屋・栄に7、8万人が集まる食と国際交流の大規模イベント。収益金はポリオ根絶、国際奉仕へ。
 3. 台北・国際大会（バーチャルに変更）。
 4. 国際奉仕事業。
 5. 地区内クラブ例会など。例会、周年事業が続々中止、延期。
 6. 米山奨学生とロータリアンの交流バスツアー。
- これらに加えて、クラブ会長、幹事さんたちのモチベーションダウンも懸念されました。そこで私は、地区方針「行動するロータリアン！世界で何かよいことをしようTOGETHER！」を地区委員会や公式訪問で説明し、新型コロナ禍を乗り越えての例会積極開催や奉仕事業の実施を呼びかけて回りました。その結果、以下の事柄が実現しました。

- I. 「RAC-1」、「緑の散歩道プロジェクト」
 - II. 2760地区テレビジョン
FacebookとYoutubeを活用してテレビ番組スタイルで地区情報を1月から6月まで発信することにしました。好評です。
 - III. 子ども食堂事業
 - IV. 名古屋東山新ロータリー衛星クラブ
 - V. オンライン会議・セミナー・例会
 - VI. クラブ活性化セミナー、ポリオマスク
 - VII. フェースシールド海外寄贈プロジェクト
前年度からの継続ですが、今年度は海外3か国インドネシア・パキスタン・ネパールに贈るものです。ちなみに前年度はペルー、フィリピン、タイブラジルでした。現在進行中です。
 - VIII. 2760地区奉仕事業小冊子
地区公共イメージ向上委員会で小冊子を作成しました。大規模地区でもあり「隣のクラブは何をしているのか？」さえ知らないロータリアンが多くその解消を図りました。会員増強にも活用できます。
 - IX. ハイブリッド型地区大会・IM
 - X. 地区大会ガバナー特別企画
米国のマーク・D・マローニー前RI会長との国際交信によるZoom鼎談（私、伊藤靖祐直前ガバナーと）をビデオにして素晴らしいオンラインセッションビデオができました。
 - XI. 66クラブの地区補助金
- このほかにDDFのグローバル補助金活用事業でフェースシールド以外にも財団奨学事業、地区国際奉仕で

タイ僻地に3か国4地区合同でICU設備を寄贈する事業も実現の運びとなりました（タイ3360地区とのZoom会議活用）。

このように、新型コロナ禍は時代の大きな脅威となりましたが、皆様の創意工夫とリーダーシップにより「機会の扉」を多くの人々に開くことが出来ました。会員数についても6月末が気になりますが、未だに日本最大の地区を維持しています。

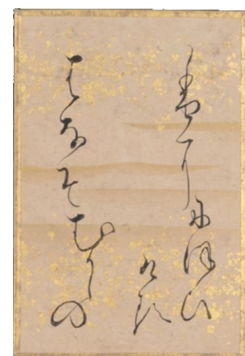
ロータリークラブの創始者ポール・ハリスは「変化の時代に革命的になるべし！」「ロータリーが私たちに何の意味するにせよ、世界は、その業績によってロータリーを知るのです」と申されました。今後も世界で何かよいことを多くできるように、努力を積み重ねてまいりたいと思います。

さて、6月は親睦活動月間ですが、一年間微に入り細に入りご指導をいただいた神野研修リーダー・PDGがこの後の紙面を担当されますので、そちらにお譲りしたいと思います。

最後になりますが、2007年国際協議会でW・ウイルクソンRI会長エレクトが地区ガバナーエレクト達に贈ったフランスの詩人 ステファン・グレレ（1773-1855）の詩を紹介して締めくくりにいたします。「この人生はたった一度限りの旅だと思うから、私にできるよいこと、私が友にしてあげられる親切なら、どんなことでも、今させてください。再び引き返してすることがないのなら、先延ばししたり、なおざりにしたくはないのです」。これまでの地区ロータリアンの皆様の御支援・御協力に心より感謝いたします。

2020-2021年度 ガバナー 岡部 勢

小倉百人一首の世界



春の歌35

人はいさ 心も知らず ふるさとは
花ぞ昔の 香(か)に にほひける
紀 貫之

あなたのお気持ちはさあどうかわかりませんがこの古都
奈良の地は、梅の花が昔と変わることなく香り、美しく
咲いて迎えてくれていますよ。

クラブ会報委員長 今井多美子

例会取りやめ 6月 2日（水）定款7-1 d (3)
例会取りやめ 6月 9日（水）定款7-1 d (3)
休 会 6月16日（水）定款7-1 d

次回 6月23日（水）の予定
例会変更
新旧委員会引継ぎ
18:00～ 菊水